

所定疾患施設療養費の算定状況について

介護老人保健施設において、入所者の医療ニーズに適切に対応する観点から、所定の疾患を発症した場合における施設での医療について、以下の要件を満たした場合に評価されることとなっています。厚生労働省の規定に基づき、所定疾患施設療養費の算定状況を公表いたします。

◆ 算定要件

所定疾患施設療養費（Ⅰ）

- ① 所定疾患施設療養費（Ⅰ）は、肺炎等により治療を必要とする状態となった入所者に対し、治療管理として投薬、検査、注射、処置等が行われた場合に、1回に連続する7日間を限度とし、月1回に限り算定するものであって1月に連続しない1日を7回算定することは認められないものであること。
- ② 所定疾患施設療養費（Ⅰ）と緊急時施設療養費は同時に算定することはできないこと。
- ③ 所定疾患施設療養費（Ⅰ）の対象となる入所者の状態は次の通りであること。
 - イ 肺炎
 - ロ 尿路感染症
 - ハ 带状疱疹（抗ウイルス剤の点滴注射を必要とする場合に限る）
 - ニ 蜂窩織炎
 - ホ 慢性心不全の増悪
- ④ 肺炎及び尿路感染症については、検査を実施した場合のみ算定できるものであること。
- ⑤ 慢性心不全の増悪については、原則として注射又は酸素投与等の処置を実施した場合のみ算定できるものとし、常用する内服薬を調整するのみの場合では算定できないこと。
- ⑥ 算定する場合にあっては、診断名、診断を行った日、実施した投薬、検査、注射、処置の内容等を診療録に記載しておくこと。

なお、近隣の医療機関と連携した場合であっても、同様に医療機関で行われた検査、処置等の実施内容について情報提供を受け、当該内容を診療録に記載しておくこと。
- ⑦ 当該加算の算定開始後は、治療の実施状況について公表することとする。公表に当たっては、介護サービス情報の公表制度を活用する等により、前年度の当該加算の算定状況を報告すること。

所定疾患施設療養費（Ⅱ）

- ① 所定疾患施設療養費（Ⅱ）は、肺炎等により治療を必要とする状態となった入所者に対し、治療管理として投薬、検査、注射、処置等が行われた場合に、1回に連続する10日間を限度とし、月1回に限り算定するものであって1月に連続しない1日を10回算定することは認められないものであること。
- ② 所定疾患施設療養費（Ⅱ）と緊急時施設療養費は同時に算定することはできないこと。
- ③ 所定疾患施設療養費（Ⅱ）の対象となる入所者の状態は次の通りであること。
 - イ 肺炎
 - ロ 尿路感染症
 - ハ 带状疱疹（抗ウイルス剤の点滴注射を必要とする場合に限る）
 - ニ 蜂窩織炎
 - ホ 慢性心不全の増悪
- ④ ⑤ ⑥ ⑦ 同上
- ⑧ 当該介護保健施設サービスを行う介護保健施設の医師が感染症対策に関する研修を受講していること。

◆ 令和7年度 所定疾患施設療養費 算定実績

所定疾患施設療養費 （Ⅰ）	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数		
尿路感染症	1	7	1	7									1	7	1	7											4	28
肺炎																											0	0
带状疱疹			1	2		5																					1	7
蜂窩織炎												1	7														1	7
慢性心不全の増悪																											0	0
合計	1	7	2	9	0	5	0	0	0	0	0	0	2	14	1	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	42

所定疾患施設療養費 （Ⅱ）	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計			
	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数	件数	日数		
尿路感染症			1	10			4	33	1	17	3	24	1	8	1	8			2	7	2	16	1	14			16	137
肺炎					1	2							1	10					1	10			1	10			4	32
带状疱疹	1	10			1	5																					2	15
蜂窩織炎	2	20	1	3	2	24															1	10					6	57
慢性心不全の増悪																											0	0
合計	3	30	2	13	4	31	4	33	1	17	3	24	2	18	1	8	0	0	3	17	3	26	2	24			28	241

※ 件数---月またぎの場合は、発生月にてカウントしています。

◆ 主な治療内容

尿路感染症	血液検査、尿検査、抗生剤の内服・点滴注射、水分補給（経口・点滴）など診察結果をもとに適宜必要な治療を行います。
肺炎	血液検査、血中酸素濃度の測定、レントゲン、CT、抗生剤の内服・点滴注射、水分補給（経口・点滴）喀痰吸引などの適宜必要な治療。
带状疱疹	抗ウイルス剤、消化鎮痛剤を用いた必要な治療。
蜂窩織炎	抗菌薬の点滴注射・内服など必要な治療。
慢性心不全の増悪	利尿剤の量の調整、水分管理、酸素投与など適宜必要な治療。